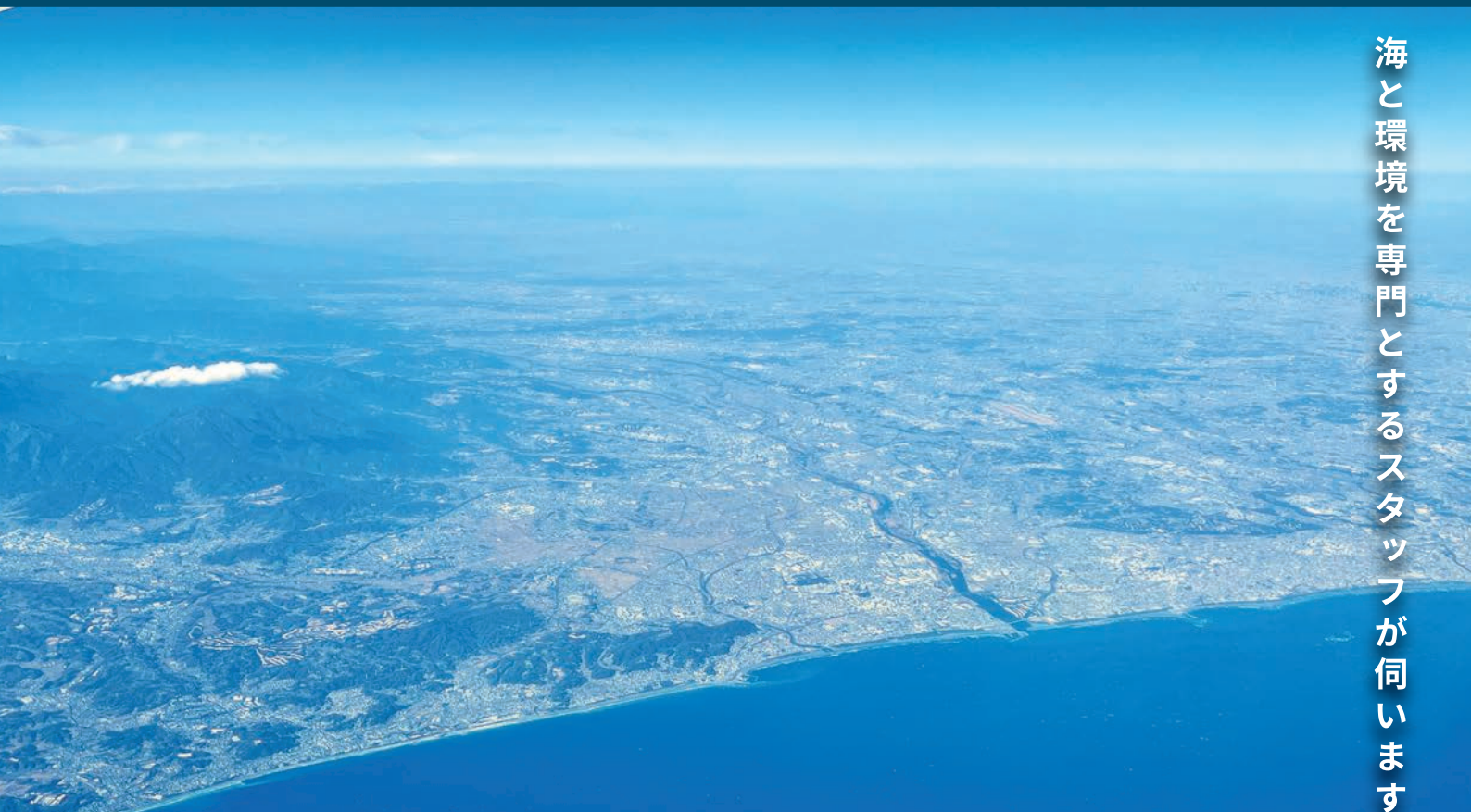


山から海へ、まちから海へ 流域と海とのつながりを考える出前授業

海と環境を専門とするスタッフが伺います



自然環境に恵まれ、生物多様性も高い、豊かな相模湾。
その生態系は、湾に注ぐ川の流域にある山や森から流れでる栄養によって支えられています。
一方で、プラスチックが海へ流入するなど流域の人々の暮らしが海に大きく影響を与えています。
身近な海である相模湾の生態系と環境を知り、そして自分たちが暮らす流域とのつながりを学び、
持続可能な未来を考える機会を提供します。



対象

相模湾に流入する河川流域周辺地域（神奈川県、東京都、静岡県、山梨県）の小中学校、幼稚園・保育園等（小中学校の教員向け研修への講師派遣もご相談ください）

費用

無料（民間企業の支援により実施する事業です）

授業内容

- ・教室で写真や映像、標本を使った海の自然や環境に関するレクチャー、プランクトン観察
- ・野外（海岸等）での生物観察、ビーチコーミング等の体験学習指導 ※その他ご要望に応じます

応募

裏面に記載のお問合せ先までご連絡ください。
内容と日程をご相談させていただきます。

お問合せ、お申し込み、詳しい情報は裏面をご覧ください。



2025年度は、小田原市、二宮町、山北町、平塚市、茅ヶ崎市、藤沢市、鎌倉市、東京都大田区の小・中学校合計12校に出前授業を実施しました！

真鶴町立遠藤貝類博物館「海の学校」利用校への事前・事後授業を含みます



特定非営利活動法人

ディスカバークブルー

後援：真鶴町教育委員会・真鶴町立遠藤貝類博物館（予定）

山、まちから川、そして海へ。流域全体で考える海と環境の学習



丹沢、箱根、秩父山地の一部、そして富士山麓から豊かな山の栄養が流れ込むことにより、海の生態系を支える植物プランクトンや海藻が成長し、豊かな相模湾を育んでいます。一方で、流域の人の暮らしからプラスチックなどが流れ出し、環境問題を引き起こしています。さらに地球温暖化に伴う海水温の上昇、海藻がなくなってしまう「磯焼け」などが起こり、海の生態系が大きく変化してきています。海にまつわる問題は海辺だけでは解決することはできません。流域全体で海のことを知り、海を思いやる必要があります。

そこで、ディスカバーブルーでは、相模湾に流入する河川の流域とその周辺を対象に流域と海とのつながりを考える授業を実施します。海辺での活動や教室での通じ、海と社会とのつながり、環境問題、各教科での学習内容への対応等、目的に応じた内容を提供いたします。

授業内容

室内での授業

学校や幼稚園・保育園室内で、授業や活動を行います。スライド写真や映像を見たり、生物標本を実際にさわって観察しながら海の自然や環境の全般的な話をしたり、生物の紹介をすることにより、海に対する理解や関心を高めることができます。また、海のプランクトン(浮遊生物)の観察を通じ、海の生物たちのつながりや海洋プラスチック等の環境問題について学ぶことができます。

室内レクチャー

教室など室内で、行う講義形式の授業です。写真や動画等のスライドを見たり、生物標本を実際に触れたりしながら行います。



顕微鏡での観察

あらかじめ採集したプランクトンを観察します。海の生物多様性を実感し、海の生態系を支える生物について学びます。顕微鏡は持参します。



海岸での体験学習指導

学校や幼稚園・保育園近隣の海岸にて、体験学習を行います。海の自然や生物の観察指導、安全面でのサポートを行います。

磯、砂浜の生物観察

磯でカニや貝、小魚などの生物をさがして観察します。生物の特徴や生態、海の世界や大切さを学びます。



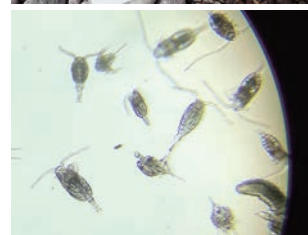
ビーチコーミング

海岸に打ち上がる貝殻や人工物などの漂着物を集めて観察します。陸と海とのつながりや海洋ゴミ問題も考えます。



プランクトン観察

漁港などの岸壁でプランクトンを採集し、室内で顕微鏡で観察します。採集用具や顕微鏡は持参します。



活動事例

対象年齢や学年ごとに、上記の授業を活用して実施した事例です。活動の目的や学校の授業内容に合わせて、野外での活動、室内でのレクチャーのみや複数回の授業を組み合わせることも可能です。

事例1 [小学4年生]

生きもののちがい/季節の変化

季節ごとに海岸で観察を行い、見られる生物の種類や様子の変化を調べる

幼児や小学校低学年では、海あそびや生き物ふれあいの体験活動としても実施。

事例2 [小学3年生]

森と川、海とのつながり

ビーチコーミングを実施し、観察した漂着物から、海と陸のつながりについて調べる

自然観察から、海と陸、人の暮らしと海とのつながりを学ぶ。環境問題やSDGsの学習にも適しています。

事例3 [小学6年生]

生物たちのつながり/持続可能漁業

魚の餌であるプランクトンを観察し、海の世界と食物連鎖と漁業について調べる

小学5年生では理科の顕微鏡を取り扱う授業等でも実施。

▶上記は、事例の一部です。授業内容は、対象学年、実施地域等、先生方のご希望を伺い相談の上、対応させていただきます。

お問い合わせ・お申込み

Discover Blue

特定非営利活動法人ディスカバーブルー

Tel : 0465-46-7807

Mail : info@discoverblue.org

担当 : 水井、寺西

https://www.discoverblue.org



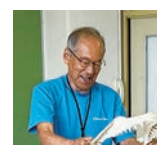
プロジェクト
特設HP

スタッフ紹介



水井 涼太
みずいりょうた
環境学(博士)

教育学部中学校教員養成課程卒業、大学院で海洋生物を研究し学位を取得。海洋研究開発機構、横浜国立大学等で勤務を経て現職。現在の専門は海洋教育、総合的沿岸管理。幼稚園～大学院・社会人を対象とし、海に関する授業を行っている。



渡部 孟 わたべたけし
ディスカバーブルー顧問。中学校理科教員として勤務後、真鶴町海の学校事業を創設。真鶴町立遠藤貝類博物館 初代館長。長年、こどもたちへの海の生物の指導を行っている。



寺西 聡子 たらにしさとこ
ディスカバーブルー事務局長。海洋微生物学専攻、環境学修士。海洋教育や海を活かした地域づくりに取り組みつつ、地域住民と連携し、こどもの野外体験活動にも従事。